

第10回

東大和市社会教育委員会議 会議録

令和4年2月15日(火)

令和3年度第10回東大和市社会教育委員会議のまとめ

- 1 日 時： 令和4年2月15日（火）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場 所： 市役所会議棟第6会議室
- 3 出席委員： 荒川進、大月孝彦、立川裕、外池武嗣、森脇千春、村山和子、
杉本誠一、柳澤明（8人）
欠席委員： 中島孝（1人）
- 4 事務局： 西田係長、石井主事（2人）
- 5 議 題： （1）研究テーマについて
（2）その他
- 6 公開・非公開： 公開
- 7 傍聴者数： 2人

○荒川議長 おはようございます。ただいまより、令和3年度第10回東大和市社会教育委員会議を開催いたします。よろしく申し上げます。議題に入る前に、傍聴許可願が提出されておりますので、ここで傍聴の許可についてお諮りいたします。本日の会議について、傍聴を許可することにご異議ございませんか。ご異議なしと認め、傍聴を許可します。

～傍聴人が入室～

○荒川議長 お手元の資料の確認をさせていただきます。事務局より申し上げます。

○石井主事 それでは、資料の確認をさせていただきます。まず、1枚目が本日の会議の「次第」でございます。資料1が、「提言原稿（2／15定例会確認用）」です。資料2が、「参考資料」です。こちらは、提言の後半に添付する資料の一式です。その他、配布資料として、「社教連会報 第86号」を配布しております。また、文化協会から書道連盟の記念誌を配布しております。

○荒川議長 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、感染症対策の徹底と会議時間の短縮にご協力をお願いします。

議題（1）「研究テーマについて」

○荒川議長 それでは、次第に沿って進めたいと思います。議題（1）「研究テーマについて」を議題といたします。本日の資料が最終稿となりますので、見落としのないようにもう一度確認したいと思います。資料2については、今までの定例会でいただいていたのですが、このようにまとめられたのは今回が初めてとなりました。提言原稿と合わせて確認をお願いします。それでは、提言原稿の最初から順番に確認していきたいと思います。

まず、表紙です。この提言書は、社会教育委員の任期の最後に提出することとなりますので、令和4年4月としております。次に目次です。提言書が仕上がってからページ数を付します。ここままで何か気づいたことがあればお願いします。

それでは、「はじめに」から「提言の基調」までで何か気づいたことがあればお願いします。

○柳澤委員 「資料2」資料1の上段の表ですが、記載内容を大きくし、表中の数字を右寄りにすることはできますか。

○石井主事 内容を確認し、大きくできるよう調整してみます。

○森脇委員 「資料2」資料1の中段にある表における高齢者世帯の数字ですが、平成27年及び令和2年は見込みではなく、実数が把握できるのではないのでしょうか。令和4年に提言をするのであれば、データが少し古いかもしれません。見込みのデータであれば、令和7年からの数値でも良いかと思います。

○柳澤委員 数値の変動を見ることができると、平成27年から記載した方が良いと思います。

○杉本委員 表のタイトルである「一人暮らし高齢者世帯数の見込み」の最後を「推移と見込み」にすれば、そのまま表を活用できると思います。

○杉本委員 表のタイトルを「一人暮らし高齢者生体数の推移と見込み」にすれば、この表としても良いのではないのでしょうか。

○荒川議長 記載されている表については出典元があります。変更ができるのか確認をお願いします。

○西田係長 データ等について確認させていただきます。

○荒川議長 「資料2」資料1まで、提言原稿と合わせて確認できました。次に「1 社会教育施設などの活用の充実」の終わりまでで何かあればお願いします。東村山市立廻田図書館の写真については、横になってしまっているのを修正します。旧吉岡家住宅は、ご家族がまだ住まわれているのでしょうか。

○石井主事 詳しくは把握していませんが、母屋にではなく隣にある家屋に住まわれていたと思います。

- 村山委員 以前は住まわれていたという印象でした。「(2)郷土博物館など」の旧吉岡家住宅の説明で「長屋門をくぐると、庭、蔵、母屋」と記載していますが、パンフレットでは「主屋」と書いて「しゅおく」と記載してあります。「主屋」と記載し、ふりがなで「しゅおく」としても良いでしょうか。
- 石井主事 郷土博物館に確認させていただきます。
- 荒川議長 よろしいでしょうか。次に「2 地域活動などの充実(1)交流の場、居場所づくりについて」の表中、参加数について、令和2年延べ人数を記載しました
- 村山委員 表中の「緑のボランティア」についてが、資料2となっていますが、添付資料では、資料3となっています。
- 荒川議長 順序を改め、整えることとします。
- 村山委員 「②課題と提言」において、「茶話活動」と記載してありますが、「茶話会活動」にした方が分かりやすいと思います。
- 荒川議長 「資料2」資料2の東大和市ふれあいなごやかサロン一覧では、「茶話会活動」と記載されており、統一した方が良いと思いますので、「茶話会活動」とすることにしましょう。よろしいでしょうか。それでは、「(2)スポーツ・体育関連について」を確認します
- 杉本委員 「資料2」資料6について、文字が小さいので大きくしてください。
- 荒川議長 「資料2」資料7は東大和市健幸都市宣言についての記載です。「健幸」は造語です。次は「3 学校教育と社会教育の連携の充実」についてです。また、「資料2」資料8は、このままでは小さいので、見開きで印刷するようにお願いします。
- 石井主事 はい。そのようにいたします。
- 荒川議長 「コミュニティ・スクール」は、文部科学省の示している文字に統一しています。よろしいでしょうか。
- 村山委員 「(1)コミュニティ・スクールについて」の枠内に記載してあるものは、学校運営連絡協議会とありますが、枠外では学校運営協議会となっています。当初は学校運営協議会だったかと思いますが、いつからか連絡協議会に変更されています。様々な名称があるのでしょうか。
- 荒川議長 運営協議会であれば学校の運営についての協議を行います。学校経営協議会と言われている場合もあります。連絡がついた場合、伝達する場という趣旨が大きくなると思います。
- 立川委員 コミュニティ・スクールは地域運営学校であり、その趣旨は運営となります。また、地域によっては名称が異なります。八王子市では学校評議委員会という名称もありました。コミュニティ・スクールは、皆さんと一緒に作っていこうという意図があります。
- 荒川議長 いつからコミュニティ・スクールを全校に設置予定ですか。
- 立川委員 再来年度からは全校設置になります。
- 荒川議長 現在、コミュニティ・スクールの設置については過渡期となっています。また、枠内の「運営連絡協議会」は、令和3年度東大和市教育委員会主要施策からの引用のため、このままとします。次に「4 コロナ禍以後の課題の対応について」です。現在、新型コロナウイルスワクチンは3回目の接種が始まっています。原稿では、3回目の接種の準備を進めているとしていますが、原稿作成時期によっては当然このような差が生じてしまいます。
- 杉本委員 原稿では、令和3年11月末時点と明記しているため、このままで良いと思います。
- 荒川議長 次に「資料2」資料10の高齢者憲章、続くページの社会教育委員名簿、審議経過等をご確認いただき、すべてを通して何かあればお願いします。その他にないようでしたら今回の提言原稿を最終校正とさせていただきます。皆様、大変お疲れさまでした。

議題（２）「その他」

○荒川議長 それでは、議題（２）「その他」を議題といたします。何かありましたらお願いします。

○大月副議長 令和２年１０月４日に開催した令和２年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第２ブロック研修会の第１部において、本市社会教育委員会議の活動について、荒川議長から報告したと思います。その後の第３部におけるグループ討議では、各市町村から、「提言を行うことが社会教育委員の本来の意義であること、その大切さが分かった」「調査に２年という期間をかけることはとても良いことである」「提言することだけではなく、その後の関係機関との関わりが大切であると感じた」「提言を行った結果について検証したい」「どこまで意見を述べてもいいのか分からなかったが、まずは意見を述べるのが基本であることだと身に染みた」などの感想がありました。こうした感想の中で、提言がどの程度活用されているかなど、検証することが重要なことであるとの話が挙がりました。本市の提言については、約２６０部作成し、各機関や各部門に配布していますが、その後の活用についてまで調査できていません。また、近隣では、国立市のみが教育委員会委員との懇談会が開催されている状況です。つきましては、本市としても、提言の活用などについて、教育委員会委員と懇談会を開催した方が良いのではないかと思います。

○荒川議長 そうした懇談会は今まで開催できていません。何回かそうした話が出たことがあります。今回については、提言を提出してすぐに開催するという事は難しいのではないのでしょうか。ですが、懇談する場を設けることは、提言が生きることに繋がると思います。

○外池委員 教育委員会定例会の前か後の時間をとっていただき、実施することはできないでしょうか。

○柳澤委員 実現することは難しいのではないのでしょうか。教育委員会の議事録を拝見すると、様々なことをされています。

○杉本委員 大月副議長がお話されたように、懇談の場を設けてもらいたと思います。約２年をかけて作成した提言をどの程度活用されているのか、確認したい気持ちがあります。また、提言のテーマについて、市や教育委員会から、検討すべきことなどを提示いただいても良いのではないかと思います。他市では、教育委員会から社会教育委員へ諮問がなされ、そのことに回答することもあるようです。そうした内容について、懇談の場で話してみたいと思います。

○大月副議長 教育委員会に限らず各部長にも配布しており、提言についての感想があればいただきたいとも考えています。

○荒川議長 第２ブロック研修会の報告書を読むと、教育長や市長との懇談会を実施している市もあります。まずは、東大和市社会教育委員として教育長と懇談する場を設けていきたいと考えています。できれば現在の任期中に実施できれば良いと思います。

○西田係長 今回いただいた話を伝え、確認させていただきます。

○荒川議長 ご確認お願いします。では次に、配布いただきました書道連盟の記念誌について、ご説明をお願いします。

○柳澤委員 書道連盟を結成して５０年となったことから、５０周年記念誌を作製しました。次回の定例会では、東大和市文化協会の５０周年記念誌ができあがりますので、配布させていただきます。本来であれば、５０年の節目は昨年でしたが、新型コロナウイルス感染症により、今年に延期となりました。ようやく５０周年の達成感を感じることができました。

○荒川議長 ありがとうございます。それでは次に、大月副議長、お願いします。

○大月副議長 所属している自治会におきまして、月報を約５年間作成しており、お手元にあるものが

47号となります。東京都の補助金により、カラーで印刷することができるようになり、今までの月報に係る自治会予算を防災倉庫等に充当できました。こうした補助金については、内容を確認し、活用できるものは活用する必要があると思います。

○荒川議長 ありがとうございます。次に、立川委員、現在の学校の状況はどうか。

○立川委員 学級閉鎖や学年閉鎖を行う学校が出ています。そのような中、各校では分散登校の実施などで対応しており、また、中学校において3年生はすべてオンライン授業としている学校もあります。感染状況をみると、まだ収まるとは思えません。3月に延期していた修学旅行については、宿泊を伴う行事となり、感染拡大防止のためにやむなく中止することとなりました。

○荒川議長 立川委員が話されたように、新型コロナウイルス感染症の影響により、IT分野についてはとても大きく進むこととなりましたが、対面での授業等がなくなり、画面とマスク越しで表情が見れなくなった現在、子どもたちの成長に長い影響があるかもしれません。立川委員、ありがとうございます。その他に参考になることがあればお願いします。ないようでしたら、副議長、まとめをお願いします。

○大月副議長 令和2年4月21日から始まり、約2年が経ちました。様々な資料の収集及びまとめなど、大変な思いをして、提言の内容の承認となりました。まだ終わりではありませんが、大変お疲れさまでした。また、提言がどう活かされるのかを確認していきたいと思います。

○荒川議長 それでは、第10回東大和市社会教育委員会議事を終了します。次回の会議は、令和4年3月15日（火）です。ありがとうございました。